

学校 番号	6 6	学校名	飯田 OIDE 長姫高等学校
----------	-----	-----	----------------

平成 29 年度学校評議員活用状況報告書

第 2 回学校評議員会 【平成 30 年 1 月 19 日（金）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- 1 学校長挨拶
- 2 本校からの報告
 - (1) 生徒指導より
 - (2) 進路について
- 3 協議
 - (1) 評議員の方からの意見・要望
 - (2) 協議

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・会議開催通知を 12 月中旬に送付することで評議員の方が予定を組みやすくするとともに、早めに参加の確認が行えるように配慮した。
- ・評議員の方に生徒の活動する姿を見ていただくために、全校課題研究発表会の見学をしていただいた後に学校評議員会を開催した。
- ・評議員会当日、学校からの報告を精選することにより協議の時間を増やし、評議員の方からより多くの意見をいただけるように工夫した。
- ・中学生向けに発行している情報紙である「OIDE 長姫通信」「定時制だより」を評議員の方に毎号送付し、学校の様子を知っていただくための一助とした。
- ・生徒の活動が掲載された新聞記事を集めた小冊子である「飯田 OIDE 長姫 Topics」を配布し、生徒の活動の様子や成果を確認しやすいように配慮した。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・全校課題研究発表会については、「研究内容や発表の質が年々向上している」「答のない課題を追求していく貴重な学びの場である」などの感想をいただいた。
- ・地域の防犯や安全の確保、若年層の早期離職など、企業と学校が共有する課題への対処について情報交換を行うことができた。これからの担う若い世代の育成のためにも、地域との緊密な連携の重要性が確認された。
- ・生徒の熱心な取り組みの背景として、担当職員の超過勤務や健康管理への懸念についての指摘があった。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・本校の外部支援団体である人材育成委員会や地域人教育、同窓会等に関わる学校評議員の方々と統合 5 年目になる本校の現状の成果と課題について意見交換を行い、貴重な提言をいただくことができた。
- ・課題研究での企業支援や、現場見学会、講演会、商業科の地域人教育等において、外部からの支援をいただきながら多様な地域連携の取り組みを行うことができた。今後も課題の継続性と発展性の両面を見据えながら、学びの場をより充実させていきたい。
- ・進路指導の成果として、地元企業への就職者数や地域の専門学校への進学者数は増加しつつあり、評議員の方からも評価していただくことができた。
- ・本校の広報活動については基本的に今後も継続の方向で考えている。学校評議員への「OIDE 長姫通信」「定時制便り」の送付も継続していきたい。

※報告書は 2 枚以上になってもかまいません。実施後、できるだけ早く提出してください。

※会議資料、新聞記事等提出できるものがあれば添付してください。